

(6) 市立図書館における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
121	「図書館へようこそ」の周知	だれもが使ってみようと思う、そして使いやすい図書館をめざして、「図書館へようこそ」(バリアフリー宣言)を周知するとともに、ハード、ソフトの両面について、図書館利用の障害を除くよう取り組む。 [105にも掲載しています。]	継続	○			各図書館に「図書館へようこそ」ポスターの掲示を継続中。「お探しの資料は見つかりましたか？」のワッペン着用期間終了後も、継続してワッペンをつけている職員も多く、館内で声をかけてもらいやすいよう取り組みを継続している。出前講座に出向いた時にも、図書館へようこそその精神を伝えPRしている。	読書振興課・図書館
122	読書相談とレファレンスサービスの充実	子どもが読みたい本や知りたいことを見つけられるよう取り組みを充実する。	継続	○			岡岡図書館では人気のある資料を子どもが自分で探しやすいよう、閲覧テーブルの上の小さい書架にまとめて置くなどの工夫をした。千里図書館では探している本が見つからなかったら職員に聞いて欲しいという張り紙を児童書コーナーのカウンターに掲示した。東豊中図書館では子ども室の各分類書架の上段の本をすべてあげ、表紙見せにすることで、利用者が資料を手に取りやすくなるようにしたり、特集コーナーや展示スペースを増設するなど資料の並べ方を大幅に見直した。 服部図書館では絵本のなかでも「きょうりゅう」「のりもの」など人気のあるものを書名にとられない配架の工夫をおこなった。新刊書の案内も探しやすいように工夫した。	読書振興課・図書館
123	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」→23年8月よりブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。引き続き4か月児健診時、市内3か所の会場で行う。家庭でもすぐに楽しめるよう絵本を1冊配布するほか、絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等をコットンバッグに入れて配布する。また健診未受診者へ保健師が絵本もしくは引換券と「えほんはじめまして」の資料を配布する等、状況に応じて働きかけを行う。 [20にも掲載しています。]	拡充	○	ブックスタートパック手渡し率	94.7%	乳幼児と絵本を楽しむことへ関心を持ってもらえ、図書館が子育て支援の場であることも認知されてきた。第2期計画における居宅親子への支援のあり方等課題を認識し、23年8月からはすぐに家庭でも親子で楽しめるよう、従来の「えほんはじめまして」の資料に加え、絵本を1冊配布することになった。これにより家庭での読書環境の充実をすすめ、より絵本を身近に親しめるような内容となった。また事業に関わっていた市民ボランティアの新たな募集・講座を実施し、さらにきめ細かな対応ができるように努めた。(市立図書館) 乳幼児と絵本を楽しむことへの関心を持ってもらうことができ、図書館が地域の人や子育てをしている保護者の交流の場、子育て支援の場として認知されてきている。(保健予防課) * 23年度より「受診者数/受診率」から指標を変更。	読書振興課・図書館 保健予防課 子育て支援センター 豊子連

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
124	乳幼児向けおはなし会	「えほんはじめまして」の取り組みをフォローするものとして、乳幼児と保護者が楽しみながら、わらべうたや絵本にふれる機会をつくる。	継続	○	回数／参加人数	407回／7,992人	リピーターも多く好評を得ており、保護者同士のコミュニケーションの場にもなっている。庄内図書館では乳幼児の参加人数が増えたため23年1月より1歳6か月以上の回を新設し、対象者の年齢を分け実施している。東豊中図書館では22年度10月に0歳から参加できるおはなし会を新設した後、参加人数が大幅に増えている。今まで関わっていない職員の見学や「えほんはじめまして」への参加を増やすなど研修を行い、乳幼児向けおはなし会の担当職員を増やすことが引き続きの課題である。岡町図書館では0歳のおはなし会への参加が多く、1日2回開催することもある。23年度は担当職員が増えたことでより丁寧に取り組むことができた。 ○0歳から参加できるおはなし会 8館／254回／5,165人。1歳のおはなし会 153回／2827人。	読書振興課・図書館
125	おはなし会	子どもが絵本やおはなしの楽しさを知ることができるよう、図書館でおはなし会を定期的に行う。	継続	○	回数	880回	岡町図書館では4・5歳向けと小学生対象のおはなし会を定期的実施していなかったが、23年は夏・冬・春休みの学校の休みに合わせ実施した。(19回実施・子ども246人、大人89人) 服部図書館ではストーリーテリングだけのおはなし会を夏・冬・春休みに合わせて実施した。今後とも実施していく予定。(3回子ども62人、大人21人)。 蛸池図書館では、保育所、保育園児がおさんぽで立ち寄った際に声かけをし、絵本を1・2冊読み聞かせをする取組み「おさんぽおはなし会」を継続的にしている。(5園、15回、392人)	○読書振興課・図書館 おはなしボランティアポケット
126	「えほんはじめまして」フォロー事業	経験豊かな講師による読み聞かせやわらべうた遊びを通じて親子のふれあいや読書の楽しさや大切さを感じてもらおう行事「えほんにたっち」や、保健予防課と連携し司書による読み聞かせやわらべうた遊びと保健師による子育てに関する話を組み合わせた行事「すくすく赤ちゃんタイム」などをいずれも図書館で実施。 〔妊婦教室についてはp.29「追加」をご参照ください。〕	継続	○	回数／参加人数	41回／992人	乳幼児向けおはなし会に保健師さんに来てもらう「すくすく赤ちゃんタイム」(8館9回／209人)のほか、蛸池図書館では絵本の紹介とともに地域の保育士を講師に招き、遊びを通して親子のふれあいや時間を共有する楽しみを知ってもらう機会「すくすくおはなしタイム」を実施した。毎回、子育て情報の交流や子育て相談の場を設けており、ゆったりとした時間を過ごしてもらっている。(1館10回／369人)。服部図書館では23年度も月に一回絵本を通じたコミュニケーションの場として赤ちゃん専用スペースを設け、職員が手遊びや本の紹介をしている(1館12回／270人)。講師を招いて行う講座「えほんにたっち」は好評を得ており、23年度も土曜開催の回を設けたことで父親の参加も多かった(2館4回／70人)。庄内図書館では23年度も保健センターが実施している妊婦教室で図書館の案内や赤ちゃん向け絵本の紹介をした(6回／74人)。	読書振興課・図書館
*楽しい絵本を教えてもらえて嬉しかったです。知らない手遊びをいろいろしてくれるので子どもも喜んでます。*わらべ歌の本が興味深かった。のびのびと体を動かして遊べてとても楽しめました。*他のおさんの様子が見れたり、絵本の読み方を教えていただけで良かったです。〈すくすくおはなしタイム〉参加者のアンケートより〉								
127	絵本講座の開催	子育て支援の講座のなかで、親子と一緒に楽しみながら読書の大切さを感じる取り組みを、関係機関・団体と連携して行う。 〔6、99をご参照ください。〕	継続	○	回数／参加人数	45回／1,669回	今年度も子育て支援センターや社会福祉協議会を通じ、多くの子育てサロン・サークルから出前講座の依頼があった。おもに近隣の図書館のこども室担当者が向向き、絵本についての話や、絵本の読み聞かせなどを行い、地域の中で本と親しむ機会としている。蛸池図書館では幼稚園でも出前講座を行った。東豊中図書館では23年度も引き続き、図書館と東豊中保育所地域子育て支援センターとの共催行事「えほんでもっともふれあいましょう」を0歳児対象と1歳児対象の年2回開催した。どちらも好評だった。71人参加。	○読書振興課・図書館 社会福祉協議会 関係機関・団体

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
128	情報検索の講習会	子どもを対象に図書館ホームページを利用して情報検索の講習会を行う。また必要に応じてパスファインダー(情報検索のリーフレット)を作成し、活用する。	継続	○	回数	2回	野畑図書館と蛭池図書館では、小学校で図書館のホームページの説明を実施した。	読書振興課・図書館
129	「子どもと本のまつり」 「子どもと本のつどい」	子どもが絵本の読み聞かせやおはなし、手づくり遊びなどを楽しむ「子どもと本のまつり」や、子どもや子どもの本・読書に関わっている講師を招いての講演会や子ども向けのワークショップなどを行う「子どもと本のつどい」を豊子連と共催。 〔13をご参照ください。〕	継続	○	回数／参加人数	3回／464人	30周年を迎えた「子どもと本のまつり」は、例年、各コーナー盛況だが、今年度は特に高学年向けおはなし会の参加が多く見られた。多言語のおはなし会はペルシア語とルーマニア語でおはなしを楽しんだ。「子どもと本のつどい」パート1はアフリカ子どもの本プロジェクトの協力で「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」と同プロジェクト代表の翻訳家さくまゆみこさんに本とアフリカの子どもたちについての講演会をしていただいた。パート2ではきしわだ自然友の会に来ていただき、小学生向けワークショップ「チリメンモンスターを探そう!」を開催。	読書振興課・図書館 豊子連
<p>・アフリカの子ども達の様子をお聞きして、あらためて子ども達に本を手渡す仕事の大切さを感じました。・さくまさんのお話は映像を含めてアフリカの様子がよく分かり、時間を忘れて聞き入ってしまいました。読んで考える文化が必要だと話されたこと、口承だけでは文化の継承は難しいこと、色々考えさせられました。(「子どもと本のつどいパート1」アンケートより)</p> <p>・いろいろなチリメンモンスターがいておもしろかった。・親のほうがすごく楽しみに待っていましたが、今日はびっくりするほど色々なモンスターをみんな見つけていて面白そうでした。スーパーのジャコにはあまりモンスターがいませんが家でも探してみます。・かせきははっかつみたいだった。(「子どもと本のつどいパート2」アンケートより)</p>								
130	子ども対象の催し	折り紙や手作り工作をはじめとした地域子ども教室など、子ども向けに行っている行事を充実し、伝承あそびや昔語りの場を提供するとともに、子どもと本をつなぐ機会とする。	継続	○	回数／参加人数	44回／1,297人	岡岡図書館で実施している地域子ども教室では、毎月翌月の工作見本をカウンターで展示することで、多くの参加者が定着している。23年度からは、前月の終了時に会場で翌月のチラシを配布することでリピート効果が上がり参加者も増えている。(23年度は10回／大人84人・子ども136人。22年度は10回／大人38人・子ども74人の参加であった)。東豊中図書館では「おもちゃ教室 つくってあそぼう」(1回／53人)、「ピヨの人形劇」(1回・70人)を実施。千里図書館では中学生や大学生のボランティアとともに実施する「おりがみ教室」(ボランティア1人、子ども20人大人13人)や「ふゆのおたのしみ会」(ボランティア4人、子ども15人大人8人)を実施した。蛭池図書館では、しかけ絵本「くるくる絵本づくり」(1回、子ども14人、大人8人)、蛭池人権まちづくりセンター・公民館と共催の「電車がつなぐ人とまち」(2回／子ども207人、大人63人)を実施。「幼児から大人まで楽しむフルート演奏と本の朗読」(1回／37人)を実施。おり紙ボランティア1名による「おりがみ教室」(10回／153人)を実施した。高川図書館で実施している地域子ども教室では、夏休みを中心に「モノづくり教室」(14回／大人30人・子ども268人)を行った。服部図書館では「モノづくり教室」(1回／35人)、「ハンドバルコンサート」(1回／78人)を実施した。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
131	「おはなし会がやってきた！」	子ども文庫やおはなしグループに依頼し、日頃図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 [55、97にも掲載しています。]	継続	○	参加人数	3施設で7回／319人	支援学校1校(小学部低学年・高学年、中学部1～3年生対象に5回開催)、児童発達支援センター2か所で開催。普段から移動図書館に添乗している図書館職員と毎年同じおはなし会グループによって実施することで、おはなし会に参加する子どもたちの様子を継続して見ることができている。今年度は図書館職員も演者として加わる機会が多かった。今後も各施設の教職員・保育士と連携して、事業を継続していく。	読書振興課・図書館 子ども文庫 おはなしグループ
132	保育所(園)・幼稚園訪問	保育所(園)、幼稚園に出かけて、図書館の使い方の説明やおはなし会を行い絵本やおはなしの楽しさを伝える。 [57にも掲載しています。]	継続		実施所(園)数	12園	図書館職員が保育所や幼稚園に出向きおはなし会や図書館の案内をすることで、本と出会う機会とともに図書館を身近に感じてもらうきっかけとする。動く図書館では年度末にきりん組を対象に、巡回先の保育所(園)でおはなし会を実施している(5園)。蛭池図書館では、近隣の民間保育園に出かけ、地域体験学習CULの生徒と一緒におはなし会を実施した。 ○庄内図書館:6園、動く図書館:5園、蛭池図書館:1園	○読書振興課・図書館 保育所(園) 幼稚園
133	「ようこそ図書館へ」	主に小学校3年生を対象として、小学校へ図書館見学を呼びかけて実施する。	継続	○	実施校数	42校	子どもたちが地域の図書館に来て、より図書館を身近に感じてもらうことで、来館につながる大切な機会となっているため、今後も継続して行う必要がある。	○読書振興課・図書館 小学校
134	講座の開催	保護者や子どものまわりにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を行う。	継続		参加人数	1回／10人	「私立幼稚園教諭・民間保育所(園)保育士向け絵本講座」を実施。絵本研究者でもある梅花女子大学子ども学科講師を講師にむかえ、子どもの育ちと絵本について学ぶ機会とした。	読書振興課・図書館

子どもの本や読書に関する情報提供

◆〈実施計画の取り組み〉(8ページ)をご参照ください。

NO.	事業名	取組内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
135	ブックリスト	本の紹介リストを作成する。	継続	○			赤ちゃん向け絵本の紹介冊子(「えほんはじめまして」で配布)を一部改訂したほか、1歳から2歳くらいまでを対象とした絵本の紹介リーフレット(24年度より1歳6か月児健診で配布予定)を新たに作成した。千里図書館ではYA(ヤングアダルト)向けの本の紹介リストを「部活! 応援号」のテーマで作成にとりかかった。	読書振興課・図書館
136	ホームページの充実	図書館の子ども向けホームページをより使いやすいものにする。	継続	○			子ども対象の行事の案内を載せ、行事終了後も写真やおはなし会のプログラムを載せるなど、日々更新を行っている。	読書振興課・図書館
137	家庭への情報提供	図書館のホームページやメールマガジン、ケーブルテレビなど多様なメディアで本の紹介などを行う。 [5、106にも掲載しています。]	継続	○			テーマごとに資料を集め市内の図書館を巡回展示する企画で、「こどもの人権」をテーマにした資料の特集を23年9月から展示し、図書館HPで紹介している。22年度年度の巡回展示「パパ力を鍛えよう」でのお父さんと楽しめる絵本や子どもの本を含む特集は、図書館HPで過去の企画展示として見ることができる。また、ブックスタート事業「えほんはじめまして」や家庭で赤ちゃん和絵本を楽しむ為のアドバイスなどをケーブルテレビで放送した。	読書振興課・図書館
138	新1年生へのPR	小学校新1年生を対象に作成した利用案内を小学校を通じて新1年生に配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 [4にも掲載しています。]	継続	○	配布枚数	3,391枚	図書館のPRや利用促進のよい機会となっているが、内容やPR方法については今後、検討していく必要がある。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
139	中学・高校生へのPR	市内の中学校、高校に利用案内やポスターを配布する。また千里図書館が作成している「YA! BOOKS通信」など情報誌によるPRも実施する。	継続	○	配布枚数	5,600部	高校生向け図書館PRポスターを作成し、市内9校に掲示を依頼した。 千里図書館で「YA!BOOKS通信」を4月、1月に発行し、近隣中学・高校を中心に配布してPRした。4月号は「YA!BOOKS紹介号」(1,600部発行)とし、YAコーナー概要や取り組みについてPRの他、ボランティア登録をよびかけた。1月号(Vol.8)は4,000部発行。5月には市内9高等学校すべてを訪問し、学校案内など資料提供のお願いと、あらためて「YA!BOOKS」のPRを行った。9校の学校資料は市内9館全ての図書館で閲覧でき、配布も行っている。9月は毎年参加している近隣高校の文化祭展示でPRを行った。	読書振興課・図書館

読書環境の整備

NO.	事業名	取組内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
140	市立図書館の資料の充実	図書館が子どもや子どもの本に関する情報を収集して資料を選書し、児童書の蔵書をさらに充実したものとする。	継続	○	児童書の受け入れ冊数	15,132冊	今年度は「住民生活に光をそそぐ交付金」を用いて、調べ学習資料の充実を図った(1,192冊)。これらの選書については、学校司書や教員等に聞き取り調査をした上で選書を行った。	読書振興課・図書館
141	はじめてであう絵本のコーナー	子どもがはじめて出会う絵本を集めたコーナーを設置する。	継続	○	コーナー設置数	全9館	すべての図書館に「はじめてであう絵本」コーナーを設けている。コーナーでは絵本の他に地域の情報や子育て情報(サロン、サークルのマップなど)を設置し情報提供を行い、赤ちゃんと楽しむ絵本の紹介冊子を設置し絵本選びの参考に活用していただいている。動く図書館や図書室では赤ちゃん向け絵本をまとめて置き、乳幼児の保護者が手に取りやすいようにしている。	読書振興課・図書館
142	子育て支援	子どもの本とともに子育てに関する資料や情報を提供し、図書館が子育て支援の場のひとつとなるよう環境整備を行う。	継続	○			「はじめてであう絵本」コーナーに子育て支援センターや社会福祉協議会の発行するリーフレットを置き、地域の子育て情報提供に努めた。こども室に子育てに関する本を置いている図書館もある。全館で授乳スペースを提供するなど、図書館でも子育て支援につとめている。	読書振興課・図書館
143	YA向けの資料の充実	YA(10代のヤングアダルト世代)向けの本のコーナーを設置する。	継続	○			各図書館において高校情報の提供などYA世代への情報発信や資料の有効活用を行い、充実を図っている。 特に岡町図書館、千里図書館、東豊中図書館、高川図書館ではYAコーナーを設置している。 なかでも千里図書館のYA!BOOKSでは一つのモデル的なYAコーナーとして、YA資料の収集、通信の発行などの取り組みを進め、各図書館への情報提供も行っている。 各図書館のYAコーナーでは資料収集やレイアウトなど、YA世代が利用しやすい棚作りを実施しており、成人式に絡めた企画やカードを使ったお勧め本の紹介、映画原作の展示など魅力ある棚作りをしている。 課題は各地域の学校へのPRと連携、継続的な資料収集と充実した書架の維持管理である。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
144	資料の充実	図書館が通園施設や支援学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書の際の参考にする。 〔110にも掲載しています。〕	継続	○	設置数	4か所	施設や学校で活用される資料のニーズについて、巡回時に情報交換している。それを動く図書館車に積み込む資料に反映することで、施設や学校の読書環境の整備につとめている。前年度、施設の職員や保護者が入れ替わる際などに交流の場を持つことが課題であったが、今年度は児童発達支援センター2か所で聞き取り調査を行うことができた。今後、このような場を定期的に持ち、さらに他の施設にも拡げることが課題である。(支援学校2校、児童発達支援センター2園) 23年度は布絵本を9冊新規購入した。動く図書館の担当が聞き取った資料のニーズに沿って、小さいサイズの簡易な布絵本を購入した。(岡町図書館)	○読書振興課・図書館 児童発達支援センター 支援学校
145	外国語資料の充実	関係団体と連携・協力し、外国人市民の意見やニーズを把握しながら、外国語資料を購入や寄贈本を受け入れることによって蔵書を充実する。また岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。 〔108にも掲載しています。〕	継続	○	購入冊数／蔵書冊数	989冊／10,537冊	23年度「世界のこどもの本の部屋」の資料として118冊新規購入した。おやこでにほんごのスタッフや、市内の小学校に転入してきた外国からの生徒への資料というニーズに応え、ハングルや中国語の資料や、小学生向けの読みものを中心に選書した。「暮らしの課題解決サービス」の一貫として庄内図書館に多文化共生資料のコーナーを設け、中国、韓国、フィリピン、台湾、スペイン、ベトナム、ブラジルの言語の資料を871冊新規購入した。この取り組みでは、子ども向けから大人向けまで幅広い資料の充実が図られた。	読書振興課・図書館
146	外国語資料の検索システムの整備	英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。 〔111にも掲載しています。〕	継続	○			「世界のこどもの本の部屋」の資料の整備として、日本語タイトルがある資料については、資料に日本語タイトルシールを貼付する作業を実施した。また年度途中から英語以外の外国語資料のデータ整備を進めている。ハングルや中国語などアジア諸言語の資料については、日本語の書名を元に検索できるよう書誌データの作成を進めている。	読書振興課・図書館
147	動く図書館の巡回	動く図書館が通園施設や支援学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ資料を貸出する。 〔109をご参照ください。〕	継続	○	巡回貸出施設数	10か所/ 18,480冊	約4週間に1回、各施設を巡回して貸出を実施。子どもが直接本を選ぶとともに、教職員の保育用資料や保護者向けの資料も貸出している。巡回が定着しており、貸出冊数は増加。個別の要望については巡回時に聞き取りができています。前年度の課題であった交流の場について、今年度は児童発達支援センター2か所で聞き取り調査を行うことができた。今後、このような場を定期的に持ち、さらに他の施設にも拡げることが課題である。 ○施設内訳、支援学校2か所、児童発達支援センター2か所、保育所6か所。	読書振興課・図書館
148	団体貸出	子ども文庫、保育所(園)や幼稚園、人権まちづくりセンターなどへ団体貸出を行う。 〔12、43、63、109をご参照ください。〕	継続	○	団体貸出冊数	53,896冊	子ども文庫や学校、放課後こどもクラブ、保育所(園)、幼稚園及び自主的な活動グループで10人以上の利用者を有する団体に資料の団体貸出を行っている。貸出期間や冊数は利用団体の種別ごとに定められており、図書館では選書の補助や、必要に応じて配本などを実施している。 ○子ども文庫4,986冊、保育所30,480冊、幼稚園3,051冊、おはなしボランティアグループ15,379冊	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
149	放課後子どもクラブへの貸出しと配本およびおはなし会の実施	放課後子どもクラブへ絵本や紙芝居などを選書し、定期的に貸出・配本する。平成22年3月現在40カ所で実施。またおはなしボランティアや図書館職員によるおはなし会を実施する。 [43をご参照ください。]	継続	○	配本校数／貸出冊数	41校 ／ 12,140冊	絵本やよみもの、紙芝居などを100冊程度1セットにして貸出している。およそ4か月に1度入れ替えを行う。普段は児童や指導員がいない午前中に本の入れ替えを行っているが、長期休業中は児童が放課後子どもクラブに来ているので、子どもたちの様子を見たり、どんな本が好きか等を聞くなどして選書の参考にすることができた。 また年度末にこれまで配本していなかったところから配本希望の連絡をいただき、市内の41校全校に配本できることとなった。今後も放課後子どもクラブチームと連携し、子どもたちが楽しい時間を過ごせるような選書を行っていく。	○読書振興課・図書館 放課後子どもクラブチーム おはなしボランティア ポケット野畑おはなしの会
150	学校図書館との連携・支援	市立図書館職員と学校司書が日常的に子どもや子どもの本に関する情報を共有する。その中で学校図書館への団体貸出や調べもの、リクエストなどの支援を充実する。また市立図書館の行事においても両者が連携し、内容の充実を図る。	継続	○			東豊中図書館では学校図書館主催で夏休み期間中にスタンプラリーを行った。今後も継続的に協力しあうことで市立図書館・学校図書館ともに子ども達の利用促進につなげたい。 蛭池図書館では、公民館ロビーにおいて担当の小学校2校、中学校2校の学校司書が作成した学校図書館紹介のパネル展示を実施し、学校図書館と公共図書館のつながりを地域の人にも知ってもらうことができた。また、同時に子どもたちによる「おすすめ本」紹介のポスター展示を実施することにより図書館の利用の促進につながった。 岡町図書館では、学校司書との懇談会での提案により、市立図書館での行事案内(小学生対象)を、近隣の小学校の学校図書館に送付している。学校司書が子どもに直接案内してくれることで、子どもの参加にもつながっているように感じる。	○読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム 小・中学校

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

NO.	事業名	取組内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
151	地域館交流会	学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を設ける。 [87にも掲載しています。]	継続	○	会合の回数	1回	市立図書館職員と担当する地域の小・中学校の学校司書との交流会を行った。図書館の資料を活用した授業の様子や学校図書館の取り組みなど、学校における子どもの読書に関する情報交換とともに、図書館における地域の子どもの読書に関する情報交換を行った。	読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム
152	小児科などの医院との連携	地域の小児科などの医院と、子どもと子どもの読書に関する情報交流を行う。 [1をご参照ください。]	継続	□			22年度に設置した赤ちゃん向け絵本の紹介リーフレットを活用してもらったため、23年度は新たに設置しなかった。	読書振興課・図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
153	おはなしボランティア活動への支援	地域や図書館、学校で活動するボランティアに対して図書資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 [14にも掲載しています。]	継続	○	貸出冊数／講座の回数／参加人数	15,379冊／8回／193人	「子どもと本をつなぐボランティア講座」受講者はここ数年、退職後地域で活動を始めたいという受講者が増えている。こうした受講者の変化やニーズに合わせて講座の内容を検討していく必要がある。(全6回のべ受講者数91人) 「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」パート1では大阪国際児童文学館特別専門員川内五十子氏を招き、高学年の子どもたちへの読み聞かせテーマでご講演いただいた。パート2は、読み聞かせボランティアの間で挑戦する人が増えつつあるストーリーテリング(素話)について、長年地域で活動が続いている野畑おはなしの会のメンバーに実演を交えてお話いただいた。いずれも公共図書館の司書も参加し、研修の機会とした。(2回受講者102人) 今後も活動中のボランティアの悩みや興味にあった内容で引き続き開催していく。	読書振興課・図書館 おはなしボランティアポケット
154	紙芝居ボランティア「紙芝居すきやねん」	市立図書館や地域の公共施設が地域のおはなしボランティアと連携し、小学生・中学生・高校生・大学生のおはなしボランティア活動を支援し、活動の場を提供する。 [15、68、88をご参照ください。]	継続	○	回数	11回	高川図書館では中学生・高校生・大学生ボランティアによる幼児・小学生向け紙芝居会を年間11回実施した。また、ボランティア登録者の募集を兼ねて、今年度も担当地域の学校司書と連携し、ボランティア(おはなしポケット有志)と図書館職員が中学校に Outreach、紙芝居の上演や紙芝居の読み聞かせのアドバイスを行なった。この時練習した紙芝居は、夏休みに小中連携の一環として中学生が地域の小学生へ読み聞かせするために選んだもので、夏休みに地域の小学校を訪問して読み聞かせを行い好評を得た。庄内図書館では実績なし。	○読書振興課・図書館 おはなしボランティアポケット有志 関係施設

子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年)実施		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
155	パネル展	子ども読書に関わる市民・関係団体の活動を紹介するパネル展を行う。	継続	○	回数	2回	岡町図書館では豊中子ども文庫連絡会との共催で実施した「子どもと本のまつり」で市内の子ども文庫の活動を紹介するパネルを展示した。 蛍池図書館では、公民館ロビーにおいて担当の小学校2校、中学校2校の学校司書が作成した学校図書館紹介のパネル展示を実施し、学校図書館と公共図書館のつながりを地域の人にも知ってもらうことができた。また、同時に子どもたちによる「おすすめ本」紹介のポスター展示を実施することにより図書館の利用の促進につながった。	読書振興課・図書館
156	教職員への取り組み	教職員向けに図書館見学会や図書館・図書館資料の効果的な活用を提案する。 [91をご参照ください。]	継続	○			岡町図書館で克明小学校教職員向けの絵本読みかかせの研修を実施した。(1回18人)	○読書振興課・図書館 小・中学校

NO.	事業名	取組内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年)実施		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
157	情報交流と研修	図書館や関係機関等で行う講座や研修の情報を共有し、学習の機会を広げる。 [72、120をご参照ください。]	継続	○	回数	1回	8月に豊中人権まちづくりセンターで開催された人権研修主任推進員・推進員等合同研修「多文化共生のまちづくりを進めるために」に参加し職員間で情報を共有した。	読書振興課・図書館関係施設
158	図書館職員研修	図書館の児童サービスに関する研修を充実する。 [51をご参照ください。]	継続	○	回数	25回	大阪府子ども文庫連絡会をはじめとして、児童サービスに関わる必要な研修を実施し、館内の情報システムを活用して、職員間の共有に努めた。	読書振興課・図書館